

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 17 日

事務事業名		男女共同参画推進事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	060202000274
						単独/補助	単独	所属課	030301
政策体系		政策体系上の位置付け						課長名	生活環境課
総合計画の施策名		0602 人権尊重のまちづくり						グループ	市民活動・交通安全G
政策名		06 みんなで築く自治のまちづくり						担当者名	
施策名		02 人権尊重のまちづくり							
手段名		02 ②男女共同参画の推進							
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	13	01	00	男女共同参画事業		
法令根拠		男女共同参画社会基本法				事業期間		単年度繰返し (平成17年度~)	
								期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
男女共同参画社会 (男女が社会の対等な構成員として互いにその人権を尊重し、責任を分かち合い、個性と能力を發揮できる社会) を実現するため、意識啓発や女性リーダーの育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 啓発チラシ等の作成、配布 各種研修会への参加 女性リーダー育成の場の提供 講演会、セミナー等の企画立案

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 講演会、セミナー等の企画立案 啓発チラシ等の作成、配布 女性リーダー育成の場の提供 各種研修会への参加 	講演会、セミナーの回数	回	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
	啓発チラシの配布回数	回	300.00	150.00	300.00	300.00	300.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
市民	人口	人	38,422.00	37,653.00	37,269.00	36,885.00	36,500.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
男女平等意識の醸成	男女が平等と思う市民の割合	%	20.60	16.30	20.00	20.00	20.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	82	61	215	
		事業費計 (A)	千円	82	61	215	
	正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人		

事業費の内訳	04年度事業費 実績 (千円)			05年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	54		07 報償費	135	
	10 需用費	7		10 需用費	80	
	合計		61	合計		215

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	男女共同参画推進プランの後期実施計画の策定	男女共同参画推進後期実施計画の推進	男女共同参画推進後期実施計画の推進

事務事業名	男女共同参画推進事業	事務事業No.	60202000274	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成11年度に男女共同参画社会基本法が制定されたことに基づき、各自治体とも男女共同参画社会の実現に向け事業を開始した。桜川市においても平成20年3月に男女共同参画推進プランを策定し、意識啓発を基本に事業を進めてきた。近年は、女性の働きやすい環境整備を進める方向性も示されている。 なお、平成31年3月第2次桜川市男女共同参画推進プランを策定した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
各種審議会や委員会など政策・方針決定の場への女性登用、役所内の管理職への女性登用を望む声がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 男女共同参画の推進は総合計画の施策目的に沿ったものであり、整合している。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 男女共同参画の推進は国の目指すべき姿であり、各自治体は市民の意識啓発を担う。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 男女の平等意識は徐々に高まりつつあるものの、依然低い状態にあり、共同参画の前提として意識を高めていく必要がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 廃止・休止した場合、男女共同参画社会の目的達成に影響がある。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 災害時の対応など、男女共同参画の推進は多分野に及ぶため、情報共有や事業実施などで関係部局との連携ができる。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最小限の事業費、人件費で事業を実施しており削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 男女共同参画の推進は市民全体が対象であり公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	男女共同参画川柳の募集を実施し、小中学生より500点を超える応募があり、市民祭作品展に入選作品の展示ができたが、講演会については、新型コロナウイルスのため中止とした。男女共同参画月間では、ひなの里認定こども園、幼保園保護者に啓発品を配布し、男性を対象とした料理教室も中止とし代替えとして、リーフレットで募集した。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 男女の平等意識は徐々に高まりつつあるものの、依然低い状態にあり、共同参画の前提として意識を高めていく必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>